



さくらんぼだより

5月号

平成29年5月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

自然との触れあいの中で・・・つくろう元気な身体！育てよう野菜！

入園、進級から、一ヶ月。新しい環境の中で、不安と緊張から泣いていた子どもたちですが、今では「あっ！アリアー！」「ダンゴむし〜！」と小さな虫探しに夢中になったり、土山を元気に駆け上ったり、下りたり、そして砂場では、どろんこあそびなどを楽しむ姿が多くなり、かわいい笑顔がたくさん見られるようになってきました。

園庭には、チューリップ、スイセン、ヒヤシンスなどの花々が、ツクシ、タンポポ、スミレなどの草花とともに咲き誇っています。そして畑には、冬を越した玉ねぎやスナップエンドウが青々と伸びてきています。

井戸の水も少〜し詰まりがちでしたが、先日ポンプの掃除をしてもらったお陰で、小川を勢いよく流れてくるようになり、子ども達にとっては、一番興味のある場所となっています。

でも、小川の淵には大きな石がゴツゴツ並んでいるため、手には何も持たないでね、と何度も伝えているのですが、水辺にシャベル、バケツは付き物・・・。ジャポジャポ水をかき混ぜたり、すくったり、はたまた小石を見つけてはチャポ〜と投げ入れ、ニコニコ笑顔で楽しんでいます。

子ども達は、なんにでも興味津々で、やってみたい、触ってみたい、こわしてみたい・・・と、～したい！気持ちがいっぱいです。大人はハラハラドキドキですが、子ども達の興味を損ねないよう安全に配慮しながら、子どものもっている力認め、信じ、一人一人の成長へつなげていきたいと思っています。

また、食育にも力を入れている西多賀チェリー保育園、畑の土の耕しを終えて、各クラス、野菜作りの準備が始まりました。子どもたちの種まき、苗植えなどを通して野菜を育てる大変さ、収穫する楽しみ、そしてクッキングや食べる楽しみなどを体験し、やがては野菜が大好きな子どもたちになってくれることを願っています。

2017・5・1 園長 中館 和子



お知らせ

<保育参観・懇談会>

4月、スイミー組を皮切りにスタートした保育参観・懇談会。5月は・2歳児クラスの懇談会、そして3歳児・4歳児クラスの保育参観・懇談会が行われます。

保育参観では、園での様子を見て頂いたり、親子で簡単なものを作ったり、また、わらべうたあそびなど、親子で楽しめるものになりたいと思います。

午後の懇談会においては、園の方針でもある“共に子育て”を目指し、園での様子や家庭でのお子さんの様子などを伝えあいながら、みんなで一緒に子育てについて語り合いたいと思います。

- 5月12日(金) はらぺこあおむし組 (4歳児)
- 5月23日(火) がらがらどん組 (3歳児)
- 5月31日(水) ぐりぐら組 (2歳児)
- 6月 6日(火) ノタン組 (1歳児)
- 6月27日(火) いいおかお組(0歳児)



保育参観 9:00~12:30
懇談会 13:00~15:00

*クラスにより多少、時間が異なる事があります。詳細は後日お知らせ致します。

<内科健診>

5月25日(水)15:00から園医の松本先生による内科健診があります。当日は、欠席のないようお願い致します。

おねがい

<名前の記入をして下さい>

名前が記入されていない持ち物(靴、オシボリ、衣類など)が多くあります。トラブルの原因にもなりますので、もう一度、**名前の記入の確認**をして下さい。

行事予定

5月		行事
日	曜日	
9	火	発育測定
12	金	4歳児保育参観・懇談会
16	火	誕生会
23	火	3歳児保育参観・懇談会
25	水	内科健診
31	木	2歳児懇談会

6月		行事
日	曜日	
6	火	1歳児懇談会・発育測定
7	水	歯科健診
9	金	防犯訓練
13	火	避難訓練
21	水	歯科健診
23	金	夏まつり実行委員会

親の思い、子どもの思い



2017・5・8

先日、一人のおかあさんからお子さんの事で相談を受けました。おかあさん曰く、登園時、イヤイヤして泣いてしまったり、グズグズして離れがたい、かわいそうに思い、夕方仕事を早めに切りあげ急いで迎えに来ると、今度は、もっと遊びたい、帰らないという……。また、何かにつけ、色々言いわけをしてはすぐに行動に移さない……。毎日の事なのでおかあさんにしてみれば、一体何なの？という思いでの相談でした。

話を聞きながら、数年前の研修での講話を思い出していました。それは、子どもは、何時どんな時でも、親に愛されている安心感を背中にしよって保育園生活をしているということでした。登園時、元気にバイバ～イ！ いってらっしゃ～い！と言えるのは、絶対夕方には、迎えに来る、という安心感があるからできるし、お家では、自分の気持ちを聞いてくれるという信頼感があるからだ……。

親であれば誰でも我が子のことは大切に思うし、いっぱい愛情をかけて育てていると思います。親の思い…それは、子どもの事を思うがあまり、起こるか起こらないか分からない先々のことまで心配し、子どもに色んな事を要求してしまう……。だけど、かける言葉は…～しないと～してあげないよ！とつい、否定から言ってしまう……。

仕事や家事で毎日忙しく時間に追われていると、休日、どこかに連れていったり、欲しいものを買ってあげたりすることで、私達大人は子どもを大事にしていると思いがちですが、子どもの側からすると、ただただ、大好きなおとうさん、おかあさんと一緒にいたいだけ、ほんのわずかな時間でも何も考えず私のことだけみてほしい、ただただ、“今の私をありのまま認めて欲しい”だけなのではないでしょうか？ 子どもが幼ければ幼いほど、気持の表し方が色々です。子どもの側に立った思いをちょっと考えてみませんか？



母と子の 絵本棚



「**かんかんかん**」 出版社 福音館
(のむらさやか 文 川本幸 制作 塩田正幸 写真)

“かんかんかん”という踏み切りの音の繰り返しの中で、次々と色々なものに乗せた列車が出てきて、ページをめくる瞬間子ども達のワクワク感が伝わり、親子で、楽しめる絵本です。



「**くわすにようぼう**」 出版社 福音館
(いなだ かずこ 再話 森羽 末吉 画)

こわ～いお話が大好き。ドキドキしながら友達同士で肩を寄せ合って、じ～と絵本をみている子どもたち。葛蒲は見たことないけど、よもぎは、よもぎ団子を作っているの、身近なものになっていて、興味津々で楽しんでいます。

子どもは遊んで育つ

乳幼児期には遊びがとても大事と言われていますが、子どもがあそんでいるのを見ると、ある時期から、遊んでばかりいて、〇〇しなさい！…というようになってきますね。

でも、子どもの成長には“遊び”は必要なもの。という、大人が色んなところに連れていって、遊んであげるというイメージを持ってしまいがちですが、ここでいう“遊び”は”子ども自らが「自発的にやる」という遊びです。大人からすると、また、いたずらばかりする、とか、友だちとトラブルになると、すぐに叱ったり、仲裁をしまいがちですが、子どもが考えることなので、そこには失敗や、トラブルはつきもの。でも、自ら考えて、行動を起こし、体験していくからこそ、成長につながっていくのではないのでしょうか。思いの違いや、失敗などがあり、そこには、子どもなりのいろんな思いが出てきますが、反面、みんなと一緒に楽しく遊ぶための工夫や考えを伝え合ったりすることで、「考える力」「工夫する力」が育ち、また、何よりも自分の気持ちを伝えることで、相手の気持ちにも気付き「人と関わる力」も育まれるのではないかと思います。こうした中で、相手の感情を感じる心、共感する心が生まれ、自分の感情をコントロールする力も育まれてくるのではないかと思います。遊びの中で生きる力を育てている子ども達、私達はこれからももしっかり見守ってあげたいと思います。

♪ わらべうたであそぼう♪

たんぽぽ たんぽぽ

たんぽぽ たんぽぽ
むこうやまへ とんでけ



たんぽぽたんぽぽむこうやまへとんでけ



* お子さんと散歩の時、道端に咲いてるたんぽぽを手にとりて遊んでみてください。